

常磐文藝

家康と政宗 (一)

星影生

徳川家康は「大名の狩するは軍法訓練の爲めなり」との目的を以て盛んに鷹狩を行ひ、平生は勿論出陣の途中にてさへ、鷹狩を行つたものである。

江戸の近郊に家康の狩場があり、その隣には伊達陸奥の守政宗の鷹場があつた。此の政宗頗る用心が深い所があると思ひば又中々大膽極まる悪戯演ずる事がある、一日政宗頗る不意であ



つた所から「善いワ今日は一ツ御鷹場の鳥を取つて遣らう」と腹を極め大膽にも家康の鷹場に入り込んで鳥三ツ四ツと合せて鶴を取り喜んで居る所へ、俄に大御所の御成りと言ふ注進を得て大に驚き慌てが鶴も鷹も押し隠しそ〜に其場を逃げ出して、ヤツと竹箆の中へかくれた所へ、早や家康が馬を急がせて遣つて来た、政宗膽を冷やして「ヤア仕舞つた今は悪事愈々露顯に及んだりと」思ひつゝも尙も身々固の息を屏してかくれて居ると、家康は見えて見ぬ振りして其の前を過ぎ去つた、政宗は「マア善かつた」とホツと息を吐き其儘自邸へと歸つて来たが其後登城すると「大御所の御召し急ぎ御出であるやう」どの沙汰があつた、政宗「さてこそ御小言頂戴し極つたれ」と思ひ恐る〜御前に出て、ハツと平伏した



刊夕日八月一十

定 定價一部金貳銭  
月 月極ニ限リ一ヶ月卅銭

料告廣 廣告料五號十三字詰  
一行十銭

日刊休 休刊日、日曜、大祭  
祝、ノ登日

川崎文治

福島縣石城郡中町  
字長橋町五番地  
常磐毎日新聞社

高 西洋御料理仕出し  
松島名産  
カキ 貝 御料理  
カキ フライ  
カキ なめし  
品々 各種

一の井  
電話一六七番

新事業の益々  
榮あらん事を  
限 限 限  
館内壽知

食糧品や  
洋食器具類は

平町田町(電話五一五番)

高野分店に  
限りませす!

毒氣、身毒、  
た困り、御方は  
毒退丸、効能を  
試みられよ!!  
効能としては梅毒、痔病、  
胎毒、淋病、消渴、腰痛、  
質斯等凡そ毒氣ある身體  
に特效あり  
石城郡内郷村小島  
毒退丸販賣本舗  
山下重受堂

祝 發 刊

(合組屋理料町平)  
福吞末千金大寶壽初新末信壽旭金玉越谷  
壽氣よ代 來 喜 しか子よの口  
軒亭し本月貞亭亭音玉廣夫本ん屋し家樓  
山石酒松竹壽瀾三尼千福麻丸か鳥福梅青  
口川喜の 遊 す 榮  
庵亭庵家本亭本益忠鳥仙屋屋み勇亭林柳  
富金三藤十海吉新大松つ銀野泉小歌一  
士 好 一老田大和 ち 光 の  
屋春館彦屋屋屋和家本屋仲木屋亭川井

謹告

本郡第四區縣會議員補缺選舉に方り不肖候補者として既に推薦狀を發送せられたる向傳聞致し候得共不肖に於て立候補承諾を聲明したる事實秋毫も無之候に付右御諒知被成下度此段謹告候也  
大正十二年十一月八日

草野 順平  
本郡第四區  
有權者各位

門出の祝ひに七

社長 川崎文治

斯くも先輩知己は私に對して期待の心を抱かるゝかと思ふ時責任の重大なるを殊更らに痛感するのであります  
次ぎに窪田小學校長の作山一枝君からも左記の手紙が來ました  
(前略)日頃の御希望こゝに目出度く御發刊までに立ち至られた事は大兄の御活動振り感服の外ありません、元來が學校に御同情のタツブと肥わたるを以て教育通告教育記者

としての社長さん故々後御社がどんなに教育界に貢献下さるか想像に餘りありません、財界不況の今日に恐ろしい御決心で御躍進の御事然し夫れは御心配御無用でせう、あなた様のあの熱のこもつた活動ぶりに動かぬものはあるまいと思はれます、表紙のあの太陽の赫々たる意匠が貴兄の熱心を表はしてあるものと思はれます、よい圖案を採られた目出度い、第二號を讀んであつた涙で同情いたします、本當に骨が折れる事せう、然

し地方には私一人ではありませぬ、大兄に御同情致す方の多い事はたしかに山程もある事と思はれます、是非御一必に御つとめ願ひます、全く御一人では並の骨折りでないでせうが初めつから大グサな泡沫的なものでは困ります、何事もタツタ一人で處理しやうとする貴兄のジミな決心が本當に尊いものであると思はれます(後略)



### 不承諾の草野氏を

## 遮二無二擔ぎ上ぐ

### 石城憲派の窮策

草野氏は起意なき旨言明

石城郡憲政派にて政派の大建物佐藤太郎氏が出馬した爲めいさゝか狼狽し

◆大野村長 木田織江氏を擁立せんとして盛んに

徳意を試みたがスゲなく拒絶されて各方面を持ち廻つた鉢の遺り場に窮した結果木田氏と縁籍關係ある磐

城銀行支配人草野順平氏が

温良なる人物であるに付け入り遮二無二に推薦し諾否決せざる内忍かに宮岡町にて

◆推薦状を 印刷し草野氏を渦中に捲込み盛んに

立候補を迫つたが同氏は常

前ノ二月から本年八月十三

日迄の間に於て行商の際主人

人三次から預り携帶した呉

服類を抵当とし又は賣却し

或は貸付けた金を得意先か

ら集め合計一千八百八十二

圓七十八錢を主人に渡さず

擅に遊興費消し平署にて柴

田警部補取調への上本日私

文書偽造行使詐欺横領罪と

して検事局に送らる

七時半後三時三十分、驛發

上り列車は廿八分、午後三

時八分同驛發下り列車は

廿二分遅引したが汽關車に

水を入る、聯合水吸上モ一

ター破損、爲めである

### 列車遅引は

モーター破損

七時半後三時三十分、驛發

上り列車は廿八分、午後三

時八分同驛發下り列車は

廿二分遅引したが汽關車に

水を入る、聯合水吸上モ一

ター破損、爲めである

### 藝妓の

## 金指輪を

無理に捲あぐ

石城郡飯野村大字北白土山野邊定之介(二五)は本年七月七日湯本温泉和泉屋方に遊興の際藝妓屋千代萬方の抱藝妓長松事白庭小(一七)の金指環を無理に捲

き、三請求されても返すに、此程平署に説諭願

を出した

梁川蠶糸記念 石城郡

より過般梁川町に開かれた

る蠶糸類品評會に出品せる

點數は千百十點に達したが

會期中記念品を受取らな

つた出品者は本縣福島蠶糸

會に送附された旨である

基督教講演 平町郡衙

前第 基督教會にては十日

午後七時から東北學院教諭

出村剛氏の講演ある由

### 平全町に亘り

## 眞夜中に避難者調べ

来る十五日を期して……

### 國勢調査の形式

平町にては来る十五日午前零時を標準とし全町に亘つて一齊に震災避難者の滞在

場所に就き其動勢を調査するが調査の方法は國勢調査

の形式に依り各區長を調査委員に囑託し役場吏員の指

揮により遺漏なき事を期する由であつて遠藤書記は第

一區から第八區まで渡邊書記は第九區から第十三區迄

佐藤書記は第十四區から第

十七區及第廿一區から第廿五區迄を擔當する由

### 丸丹の行商人

## 二千圓横領

全部遊興費消

住所不定自稱新潟縣佐渡郡眞野村大字豊田生れ重作三

男福田幾藏(二七)は平町字十五丁目呉服商丸丹山下

三次方の行商に雇はれ四年

三

### 愛婦義捐金

本日迄郡衙に

石城郡内愛國婦人會にては各方面より震災救済義捐金を募集中であつたが本日迄

郡衙宛に送附されたのは左記の如くである

平町五百四十四圓廿錢

上遠野村七十六圓廿五錢

田八村三圓五十錢 小名

落町三百圓 内郷村百六

十五圓七十錢

水戸局へ申請

石城郡好問村に於て農家の副業とし葉煙草の耕作を試

みた事は既記の如くである

葉煙草耕作

水戸局へ申請

石城郡好問村に於て農家の副業とし葉煙草の耕作を試

みた事は既記の如くである

### 常磐片々

憲派候補者の鉢が宙に迷ふ、風船玉同様滑稽味が多い丈に罪がない

迷つた鉢を草野順平氏に叩き付けたが中味のカラッポなお鉢は御免を蒙ると草野氏手を横に振る、

またお鉢を擔がねばならぬにウンザリした憲派の擔ぎ尾連中『草野サンにお鉢をおあつけしました』と疲れ

た肩を叩く

憲派は人泣かせなハチを一体どう仕末する、タガがゆるむよ

是れが本物のハチなら東京の罹災民が喜ぶだらう

一層一思ひに憲派の口癖である普通の小手だめしに運動ぬきの理想選挙をやつて見てはどうだ、

先づ憲政『カイ』より始めよ』と云ふ語がある、萬更駄洒落でも御座んすまい。

遮莫、疊の上でさへ怪我

### 火防の督勵

好問村にて

石城郡好問村大字北好問の一部及び大字上好問は僅々人家四十三戸に過ぎざりしに好問炭礦の擴張に伴へ四

百數十戸に増加し市街地の觀ある爲め火災季に入り危

險多き依り去る五日平署石田部長監督の許に叶多消防

組頭以下各小頭出動火防督勵を試みた

功績燦たり

平署管内消防組中社會公共事業に貢献した功に依り近く金馬簾を授與するものは夏井組二本箕輪組三本小名

濱組三本江名組一本である

平裁判だより

▲出生 ▲北目町 鈴木喜惣太四男 留次郎 ▲月見町 三浦玉吉三男國治 ▲三丁目 小松崎子之吉長 男芳太郎

### 男の屍体がブラ下る

女將が驚いて卒倒

縊首自殺を遂げた四十男

南町飲食店の便所に

本日正午頃平町字南町飲食店新橋屋事佐々木金次郎内

縁の妻開けさ(二一)が便處の扉を開きしに縊首せる男

の屍体ブラ下り居たる爲め仰天卒倒したが縊首を遂げた男はけさの親籍、當る石

城郡川部村大字三澤字三澤

雜貨商中川常男(四三)にて極度の神經衰弱に罹り同家に滞在松村醫院に通つて診療を受けて居た處妻も又重病であら旨の報知を受け種々心配の末自殺したものである

茂雄の胸元を掴んで暴行し略式にて科料五圓

■無錢飲食懲役 双葉郡長塚村大字澁川農前科三犯淺

三清(三〇)は各所に於て無錢飲食を爲し同郡新山町中

尾三郎方より自轉車一臺を横領し七月懲役二年六ヶ月

言渡さる

▲出生 ▲北目町 鈴木喜惣太四男 留次郎 ▲月見町 三浦玉吉三男國治 ▲三丁目 小松崎子之吉長 男芳太郎